

一般社団法人衛星放送協会 平成29年度事業報告

平成29年4月1日～平成30年3月31日

1. 概要

(1)平成29年度 有料・多チャンネル放送を取り巻く環境から

平成29年度の市場環境は、平成28年度に引き続き、OTT等通信系サービスの拡大や、スポーツをはじめとする放映権の高騰、確保の問題などにより、非常に厳しいものとなりました。一方で、2018年12月から開始される新 4K8K衛星放送に向け、関係者の具体的な動きが活発化したことや、当業界の長年の課題であった東経110度CS右旋放送での12スロット高画質化が前進するなど、普及拡大の好機に繋がる要素が現実化、具体化した1年でもありました。

4K・8K放送の普及には、放送事業者のビジネスモデル確立や、安定した放送サービスの提供など、数多くの課題がありますが、2018年12月の実用放送開始に向けて、受信方法に関する視聴者への周知広報は喫緊の課題となっています。総務省主導で組成された「4K・8K放送推進連絡協議会」には当協会も参加し、関係諸団体と共に一丸となって係る課題への取り組みを開始しました。特に当協会会員社が認定を受けた、所謂左旋帯域における受信環境の整備や普及促進は現状未整備の状態であり、国や関係諸団体すべてによる対策が今後の極めて重要な課題となります。

東経110度CS右旋放送での12スロット高画質化については、2018年12月の新4K8K衛星放送の開始までに実現させることを目標にしてきました。それに向けて会員社による画質評価会の実施や、総務省をはじめ多方面にわたり関係先と調整の結果、平成29年9月、総務省による東経110度CS衛星基幹放送業務の認定申請受付開始が実現しました。平成30年春には電波監理審議会の答申が出る見込みとなり、現状54番組中33番組がSDであるのに対し、2018年中には多くの番組がHD化される道筋がつかえました。4K・8K放送と合わせ、高画質化の分野では大きく進展した1年となりました。

放送サービスの高度化では、上記以外に放送と通信の本格的融合時代に向けた各種議論が総務省主導の「放送を巡る諸課題に関する検討会」および関連分科会、WGで議論が行われてきました。その中で「視聴者プライバシー保護ワーキンググループ」、「地域における情報流通の確保等に関する分科会」、「ケーブルテレビWG」については今年度中に一定の方向性が示された一方、NHKのインターネット同時再放送をはじめとする放送と通信の本格的融合時代の到来に向けた、議論が継続されています。また、平成30年年初からは、新たに「放送サービスの未来像を見据えた周波数有効活用に関する検討分科会」および「衛星放送の未来像に関するワーキンググループ」が組成され、中長期にわたる新たな視点での議論も開始されています。

以上の環境変化の中で、当協会は、会員社の放送サービスの水準を向上させ、放送文化の発展を念頭に、総務省をはじめ、関連団体との連携を深めながら、事業計画の柱となる7つの重点項目に取り組みました。詳細は、「2. 衛星放送協会の事業報告 (1)重点目標への取り組みについて」を参照ください。

(2)有料・多チャンネル放送契約数の現状

平成30年3月末時点の契約数合計は1,361万件となりました(当協会推計値)。

2. 衛星放送協会の事業報告

(1)重点目標への取り組みについて

①有料・多チャンネル放送市場拡大への取り組み

イ. 2018年から順次放送が開始される4K・8K実用放送に向けた取組み

2018年12月から開始される実用放送に向けて、総務省の「4K・8K放送推進連絡協議会」、「4K8K放送技術団体連絡会」、「4K・8K時代に対応したケーブルテレビの映像配信の在り方に関する研究会」の関連分科会、検討会、WGに構成員ないしオブザーバーを出し、有料・多チャンネル放送の業界代表として積極的な意見表明、提言を行いました。また、一般社団法人 放送サービス高度化推進協会、一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟をはじめ、関係団体との情報共有、連携を深めました。

これらに対応する当協会内組織として「4K・8K検討プロジェクト」、「4K事業者連絡会」等で会員社間の情報共有、意見交換などを実施。また、技術委員会では4K放送に関する関連技術の情報収集と共有を通じて、会員社の4K放送に対する理解、意識向上、対応力を醸成、強化しました。

ロ. 110度CS右旋放送におけるHD高画質化再編の実現

本年度の重点目標に据えた110度CS右旋放送のHD高画質化は、2018年12月の新4K8K衛星放送開始までに実現することを目指し、プラットフォーム事業者、関係放送事業者等と調整を行いました。また、会員社による画質評価会を実施し、その結果を総務省に要望書を提出した結果、平成29年9月、総務省による東経110度CS衛星基幹放送業務の認定申請受付開始が実現し、同10月には12スロットを前提としたHDTV番組について12者17番組の申請が受け付けられました。平成30年春には電波監理審議会の答申が出て、秋には多くの番組がHD化される見通しとなりました。

ハ. 「オリジナル番組アワード」強化と更なる認知度の向上

オリジナル番組アワードは今回から、作品の応募、審査、管理をインターネットのクラウドシステムを利用し効率化と利便性の向上を図りました。応募作品は31社から、オリジナル番組賞7部門で101作品、オリジナル編成企画賞20企画、合計121が集まりました。正会員社の代表による第1次審を経て、最終審査はノンフィクション作家の吉岡 忍審査委員長ほか11名で行い、大賞を除く受賞作品は6月12日の記者会見で発表し、7月13日に開催した授賞式では「大賞」の発表と、各受賞作品を表彰しました。開催目的のひとつである周知活動は、発表を二段階に分割したことや、協賛社であるKADOKAWA様のネットサイトに受賞作品の情報を掲載し、そこから多くのネットニュースに拡散した効果と合わせ、露出数は過去最高となる211(前回166)に及び、認知度の向上に貢献しました。

二. 放送のネット配信とインターネットを融合したサービス高度化に向けた取り組み

総務省の「放送を巡る諸課題に関する検討会」の一環である「視聴環境分科会」、「放送コンテンツの製作・流通の促進等に関する検討委員会」、「地域における情報流通の確保等に関する分科会」に参加し、有料放送事業の発展に向けた発言と、会員社との情報共有を図りました。また、当協会内に設置した「ネット配信検討プロジェクト」では、関連する課題の整理、対応の検討、情報共有や意見交換と共に、関連する事業者へのヒアリングなどを実施しました。

②社会貢献・啓発活動

当協会の社会貢献活動は2010年度から「飲酒運転撲滅」、「地球温暖化防止」、「不正視聴防止」などのテーマでキャンペーン映像を制作し、会員各社が運営するチャンネルや、ホームページで露出を図り、社会貢献活動を実施してきました。2014年からは、毎年約100名の会員社社員が参加して、都内の繁華街でゴミ拾いを実施しています。

また、啓発活動として、有料・多チャンネル放送のイメージアップを図ることを目的にキャンペーンCM「HAPPY TV LIFE」を制作し、3月から会員社が運営するチャンネルで放送する他、ホームページでも露出を図っています。

③CAB-J活動の更なる充実

CS/BSペイテレビ広告の啓蒙と市場拡大を目指して実施しているCAB-Jセミナー2017を、東京、大阪、福岡の3地区で開催。各地区の広告会社を多数集客して、視聴者属性が明確なターゲットメディアであるCS/BSペイテレビの特徴を、映像事例集と調査データを元にしたプレゼンテーションで訴求しました。

また、機械式ペイテレビ接触率共同調査は、平成30年4月以降の刷新と充実化に向け、正会員と賛助会員で構成されるワーキンググループで継続した意見交換を実施し、調査期間の52週化や対象エリアの拡大等について実現を図りました。併せて平成30年4月の同調査で、トライアル実施するタイムシフト視聴測定の準備を整えたほか、視聴ログによる視聴者数推計の検討も進めました。

更に、正会員と賛助会員を対象に、地上波キー局中心に昨年10月から運用が始まった、TVCM素材のオンライン送稿をテーマとした勉強会を開催し、最新の情報を共有しました。正会員を対象とした「オンラインCM搬入」や、「IP配信における広告サービス」に関するアンケートも実施しました。

ホームページをリニューアルし、情報発信力の向上も目指しました。加えて平成30年4月に刷新予定

のトップページのデザインや、今後の会員データ情報内容の充実化、ユーザビリティの向上やスマホ対応等についても準備や検討を実施しました。また、機械式ペイテレビ接触率共同調査結果をニュースリリースとして隔月発信したほか、CAB-Jメールマガジンも隔月で発行しました。

④多チャンネル放送研究所の調査・研究活動の更なる充実

平成29年度も従来より実施している各種調査と報告書を作成し、発表会を開催しました。また、平成30年度に多チャンネル放送研究所設立10周年を迎えることから、新たな取組みとして2年越しの視聴者調査を開始しました。これは、テレビに限定せず、動画や映像サービスが一般家庭においてどのようなスタイルで視聴されているのかを深掘りする調査で、2018年中の結果報告を目指した取組みになります。

(2) 定例会議

①第6回定時社員総会(平成29年6月12日)

●決議事項

第1号議案 平成28年度事業報告及び平成28年度決算(案)承認の件

第2号議案 役員選任の件

上記いずれも承認。

●報告事項

第7回オリジナル番組アワードについて

会員の異動について

(正会員1社入会あり、平成29年6月12日時点の会員総数114(正会員80、賛助会員27、特別会員7))

■特別講演

テーマ	「いまどきの“テレビの見え方”を考える」～分かりやすいデバイス・サービスに向けた諸課題～
日時	平成29年6月12日(月) 17:00～17:45
場所	経団連会館 国際会議場
講師	株式会社ビデオリサーチ ソリューション局 テレビ・メディアソリューション部長 石松俊之様
参加人数	約100名

②理事会

第29回理事会(平成29年5月23日)

◎決議事項

第1号議案 平成28年度事業報告(案)及び平成28年度決算(案)承認の件

第2号議案 役員候補選任の件

第3号議案 第6回定時社員総会開催の件

上記いずれも承認。

◎報告事項

・衛星放送協会 会長、理事選出について

・その他

第30回理事会(平成29年6月12日)

◎決議事項

第1号議案 「衛星放送のプラットフォームガイドンに関する委員会」委員選任の件

第2号議案 業務執行理事分掌変更の件

上記いずれも承認。

第31回理事会(平成29年9月26日)

◎決議事項

第1号議案 商業用レコードの2次利用料に関するレコ協・CPRAとの契約締結について

第2号議案 音楽著作権に関するNexTone およびJASRACとの契約について

第3号議案 「個人情報保護に関する基本的な考え方」改定について

第4号議案 新規入会について

上記いずれも承認。

◎報告事項

1. 職務執行状況報告(平成29年4月1日～9月25日分)
2. 平成29年度予算執行状況と見込について
3. 第7回オリジナル番組アワード実施報告
4. 「視聴覚障害者等向け放送に関する研究会」について
5. 「映像符号化方式等を活用した周波数有効利用に資する技術的検討に関する検討会」の構成員委嘱について
6. とくしま4Kフォーラム及び4K徳島国際映画祭2017協賛
7. 平成29年度衛星放送協会 共同CMについて
8. 社会貢献活動 第4回スポ GOMI 大会
9. 協会ホームページのスマホ専用サイト開設の件
10. その他

第32回理事会(平成30年1月23日)

◎決議事項

- 第1号議案 「理事/監事候補選出手続き細則」改定の件
第2号議案 会長推薦委員会設置の件

上記いずれも承認。

◎報告事項

1. 平成30年度事業計画および予算策定スケジュールについて
2. 「視聴覚障害者等向け放送に関する研究会」について- 総務省に対する意見書
3. CAB-J 英文表記について
4. 第8回オリジナル番組アワード実施計画について
5. 違法アップロード防止キャンペーンCMの更新について
6. 若手交流会について
7. 「通信・放送 Week2018」名義協賛について
- その他

第33回理事会(平成30年3月27日)

◎決議事項

- 第1号議案 平成30年度事業計画および平成30年度予算承認の件
第2号議案 会長候補者承認の件
第3号議案 会長候補者による推薦理事一任の件
第4号議案 一般社団法人 コンテンツ海外流通促進機構(CODA)入会の件
第5号議案 新規入会の件
第6号議案 退任役員慰労金規定制定の件
第7号議案 定款第33条(役員の報酬等)改定(案)承認の件

上記いずれも承認(第6号議案および第7号議案は社員総会での定款変更承認条件)

◎報告事項

1. 職務執行状況報告
2. 理事選挙スケジュールについて
3. 組織見直し進捗
4. 会員の異動について
5. 著作権委員長の所属会員社変更について
6. 第3回関西放送機器展に対する後援について
7. 「通信・放送 Week2018」関連
8. 消費税軽減税率制度に関する総務省からの周知協力要請について
9. 不正アップロード防止キャンペーンCMに関する日本ケーブルテレビ連盟との連携について
10. CAB-J会長代行人事について
11. 協会キャンペーンCM「HAPPY TV LIFE」について

③一水会(総務省 衛星・地域放送課と協会による原則偶数月開催の定例会議

:協会側の説明は、理事会で報告されているので省略し、行政よりの説明事項のみ記載)

4月度一水会(平成29年4月5日)

- ・放送を巡る諸課題に関する検討会について
- ・4K・8K放送推進連絡協議会の開催について
- ・字幕等の付与の現状に関する調査結果について

6月度一水会(平成29年6月7日)

- ・放送を巡る諸課題に関する検討会より親会について(第15回 5月26日)
- ・ケーブルビジョン2020+について
- ・4K・8K放送推進連絡協議会について

8月度一水会(平成29年8月2日)

- ・放送を巡る諸課題に関する検討会より親会について(第16回 7月4日)

10月度一水会(平成29年10月5日)

- ・放送を巡る諸課題に関する検討会より親会について(第17回 9月20日)
- ・視聴覚障害者等向け放送に関する研究会について(第1回 9月21日)
- ・東経110度CS放送に係る衛星基幹放送の業務の認定申請について
- ・4K・8K放送推進連絡協議会4K・8K放送に関する周知広報計画(アクションプラン)骨子案について

12月度一水会(平成29年12月6日)

- ・CS110(右旋)12スロットHD化について
- ・4K・8K放送推進連絡協議会関連について
- ・規制改革推進会議 第2次答申について
 - (1) 割当手法の抜本的見直し
 - (2) 電波利用料体系の見直し
 - (3) 帯域確保に向けた対応
 - (4) 放送用の帯域の更なる有効利用
- ・4K・8K時代に向けたケーブルテレビの映像配信の在り方に関する研究会について
- ・視聴覚障害者等向け放送に関する研究会について

2月度一水会(平成30年2月7日)

- ・放送を巡る諸課題に関する検討会について(第18回12月25日開催)
 - (1)「放送サービスの未来像を見据えた周波数有効活用に関する検討分科会」
 - (2)「衛星放送の将来像に関するワーキンググループ」

④二者懇談会((一社)日本ケーブルテレビ連盟と協会との定例会議)

第80回(平成29年4月7日)

- ・両委員長並びに新任委員、事務局挨拶
- ・法人・業務用配信について(「住宅宿泊事業法案」に関連する対応)
- ・「放送を巡る諸課題に関する検討会」および「放送コンテンツの製作・流通の促進等に関する検討委員会」に関する報告
- ・多チャンネル放送研究所からの報告

第81回(平成29年10月31日)

- ・両委員長並びに新任委員、事務局挨拶
- ・過去主要テーマの共有と今後の活動について
- ・東経110度CS衛星基幹放送業務認定結果

(3) 委員会活動

委員会活動の概要と、委員会の議事項目、活動項目とセミナー/説明会を記載する。

①総務グループ

◆総務委員会

協会運営の全般を補佐。2つのワーキンググループ「セミナーWG」、「事務局WG」で各課題の研究・検討とセミナーを実施。昨年6月に懇親会、今年1月賀詞交歓会の運営を補佐

4月度(4月13日)

平成28年度収支計算書(速報)と事業報告(案)報告/総務委員会と広報委員会の統合を検討するWG開催を確認

5月度(5月11日)

総務委員会主導のセミナー開催は、従来の年1回を2~3回に増やし、協会会議室を会場とする旨検討
/6月の定時総会運営の確認/6月から総務委員会と広報委員会は共同開催

◆広報委員会

4月度(4月27日)

今後、総務委員会と広報委員会は合同開催する/4K8Kの周知・広報戦略の情報共有/6月12日記者会見の構成確認

5月度(5月30日)

6月12日の記者会見の最終確認

◆総務委員会・広報委員会 合同開催

6月度(6月16日)

各委員会の業務説明/各業務ごとにWGを立ち上げ、メンバーは原則として両委員会から出て構成
/合同委員会は隔月開催

8月度(8月25日)

人材育成セミナーは11月、2月に開催/第4回スポGOMI大会を10/28(土)明治神宮外苑一帯、「青山スポーツフェス」に合わせて実施/共同CMのテーマを「有料・多チャンネル放送のイメージアップ」に決定。10月に募集開始、来年3月運用開始を目指す

10月度(10月3日)

次回人材育成セミナーは11月16日(木)テーマ「テクノロジーでスポーツを変える!」に決定/第4回「スポGOMI大会」の実施計画を確認/キャンペーンCMのテーマは「有料・多チャンネル放送のイメージアップ」で決定/協会ホームページのスマホ専用サイト9月30日(土)に公開/次回若手交流会は2018年2月23日(金)グランドハイアット東京「フレンチキッチン」正会員社20~34才迄の社員が参加対象

第11回人材育成セミナー

- | | |
|-------|--|
| ■日 時 | : 11月16日(木) 15:30~17:30 |
| ■会 場 | : 衛星放送協会会議室 |
| ■講 師 | : データスジアム(株) 代表取締役社長 加藤善彦氏
メディア事業推進2部 部長 尾関亮一氏
ナレッジ開発チーム兼ベースボール事業部アナリスト 金沢慧氏 |
| ■参加者数 | : 16社50名 |

第18回衛星放送協会懇親ゴルフ会

- | | |
|-------|------------------------|
| ■開催日時 | : 平成29年11月8日(水) |
| ■会 場 | : グリッサンドゴルフクラブ(千葉県成田市) |
| ■参加者 | : 47社65名 |

12月度(12月5日)

第11回 人材育成セミナー実施報告/第12回人材育成セミナー2018年2月8日(木)15:30~テーマ「VRからみるコンテンツビジネス」で実施/第4回スポGOMI大会中止(荒天)報告、申込者数は22社128人(過去最高)/共同テレビCM制作応募は3社5作品あり、執行理事も交え審査の結果「Happy TV Life」(株)アニマックスブロードキャスト・ジャパンに委託。納品2018年2月9日(金)放送開始日2018年3月1日(木)/年頭記者会見概要、役割分担の報告/第10回若手交流会参加は2018年2月23日(金)で開催決定。参加する若手社員が主体となって企画と運営を担当する

2月度(2月1日)

第12回人材育成セミナーの実施概要確認/共同テレビCM制作の進捗報告/第10回若手交流会の準備状況と運営報告/ホームページのスマホ利用状況報告/B-maga年間台割の確認/平成30年度事業計画案と予算案の報告

第12回人材育成セミナー

- | | |
|-------|---|
| ■日 時 | : 平成30年2月15日(木) |
| ■会 場 | : 衛星放送協会 会議室 |
| ■講 師 | : 株式会社NTTドコモ 移動機開発部第二イノベーション推進担当課長 的場直人氏
株式会社VRデザイン研究所 代表取締役所長 勝野明彦氏
株式会社積木製作 取締役マネージャー 赤崎信也氏
株式会社 eje VR推進部執行役員 待場勝利氏 |
| ■参加者数 | : 22社47名 |

第10回若手交流会

- | | |
|-------|------------------------------|
| ■日 時 | : 平成30年2月23日(金) |
| ■会 場 | : グランドハイアット東京「フレンチキッチン」(六本木) |
| ■参加者数 | : 31社123名 |

◆技術委員会

会員社に共通する放送技術課題について調査研究を行った。

4月度(平成29年4月18日)

CS110 度の帯域再編に向けた画質評価会の実施に向けた準備

5月度(平成29年5月23日)

CS110 度の帯域再編に向けた画質評価会の具体的内容の確認

6月度(平成29年6月20日)

CS110 度帯域再編の件

ARIB 規格書の件

7月度(平成29年7月18日)

放送の重大事故と再発防止策説明会の準備

8月度(平成29年8月29日)

放送の重大事故と再発防止策(8月10日に衛放協にて、53社76名が参加した)

9月度(平成29年9月19日)

下期の技術委員会にて取り上げる議事内容について

10月度(平成29年10月17日)

下期の技術委員会にて取り上げる議事内容について(意見集約)

(1) 各社のファイルベース、OTT(配信)の運用について

(2) 解説放送を実施している事業者に運用や補助音声の事例

総務省「視聴覚障害者等向け放送に関する研究会」について

11月度(平成29年11月21日)

「東経110度CS放送に係る衛星基幹放送の業務の認定申請受付結果」について

解説放送についての事例の情報共有

12月度(平成29年12月20日)

ヤマハ株式会社「おもてなしガイド」デモ

視聴覚障害者等向け放送に関する研究会 指針(案)要約

1月度(平成30年1月16日)

ヤマハ株式会社「おもてなしガイド」の今後の対応について

視聴覚障害者等向け放送に関する研究会について

2月度(平成30年2月20日)

IPTVの(株)アステム説明会について

改元に伴うシステムへの影響調査

3月度(平成30年3月20日)

(株)アステム「IPTVを利用した字幕、手話の付与」デモ

◆アワード委員会

第7回衛星協会オリジナル番組アワードの記者会見を6月12日、授賞式を7月13日に開催した。授賞式では複数部門で受賞作品の出演者を会場に招き、製作者を讃える華やかな授賞式となった。2018年に開催する第8回の準備は、9月から実施計画を策定し、計画の承認を得て、2月より作品募集を開始、3月は一次審査を行った。

4月度(4月12日)

一次審査会の開催状況が報告／6月12日記者会見での受賞作発表について確認

5月度(5月17日)

最終審査会の確認／次点に贈る賞の呼称を【奨励賞】から【審査員特別賞】に変更／オリジナル番組賞7部門から大賞を選定／パンフレット講評担当、授賞式プレゼンターは、最終6月12日記者会見の進行確認

6月度(6月21日)

受賞作確認／7月授賞式の構成、全体進行の確認

第7回衛星放送協会オリジナル番組アワード 受賞作一覧

■オリジナル番組賞		作品名	チャンネル名	会社名
ドラマ番組部門	最優秀賞	ドラマW 稲垣家の喪主	WOWOWプライム	株式会社WOWOW
ドキュメンタリー番組部門	最優秀賞	爆走風塵 ～中国・激変するトラック業界～	NHK BS1	日本放送協会
〃	審査委員特別賞	国際共同制作プロジェクト 格闘ゲームに生きる	WOWOWプライム	株式会社WOWOW
情報番組・教養番組部門	最優秀賞	英国男優のすべて 英国男優はこうして作られる	AXNミステリー	株式会社ミステリチャンネル
中継番組部門	最優秀賞	ゆる～く深く！プロ野球	NHK BS 1	日本放送協会
バラエティ番組部門	最優秀賞	KNOCK OUT(ノックアウト)～競技クイズ日本一決定戦～	ファミリー劇場	株式会社ファミリー劇場
〃	審査委員特別賞	めざせ！オリンピック“野獣”松本薫 ×“ビビリ”15歳 柔道 世界のワザと心を本気で伝授！	NHK BS1	日本放送協会
アニメ番組部門	最優秀賞	甦るノルシュテインの世界 #1「霧の中のハリネズミ編」	イマジカBS	株式会社IMAGICA TV
〃	審査委員特別賞	鬼平	時代劇専門チャンネル	日本映画放送株式会社
ミニ番組・番組PR部門	最優秀賞	日本映画専門チャンネル×サバイバルファミリー 矢口史靖の「映画の常識、それほんと!？」	日本映画専門チャンネル	日本映画放送株式会社
■オリジナル編成企画賞	最優秀賞	追悼 演出家・蜷川幸雄	日本映画専門チャンネル	日本映画放送株式会社
〃	審査委員特別賞	渥美清さん没後20年 “寅さん”特集	NHK BSプレミアム	日本放送協会

8月度 休会

9月度(9月7日)

第7回アワードの全体レビュー、課題、改善点の抽出、媒体露出結果報告

10月度(10月12日)

第8回実施計画の検討／全体日程の確認

11月度(11月15日)

委託業者の検討／審査部門の検討／授賞式日程の検討／授賞式会場を千代田放送会館で決定／新たなアワードロゴの検討／最終審査委員の追加検討／授賞式司会者の検討

12月度(12月13日)

授賞式 2018年7月12日千代田放送会館で確定／2部門の名称変更を決定／年頭会見の進行確認／スケジュール全体確認／次回応募要領の確認

1月度(1月17日)

新たに最終審査委員松井一晃氏(文藝春秋社)決定／応募要領の確認／審査部門の確定／周知・広報計画の確認

2月度(2月14日)

応募要領の確定／最終審査委員 読売新聞のご担当者変更／審査会日程の確定／一次審査の内容、日程、役割分担の確認

3月度(3月14日)

一次審査オブザーバーの役割分担確定／一次審査会の日程確定／最終審査会の分担確認／6月会見の段取り確認、全体スケジュール確認

②コンプライアンスグループ

◆著作権委員会

音楽著作権に関わる2団体と交渉、会員向け著作権セミナーや違法アップロード対策の啓発、情報交換等を実施した。

4月度(平成29年4月14日)

JASRAC・NexToneとの協議について
レコード協会・CPRAとの協議について
違法配信サービスへの対応について

5月度(平成29年5月12日)

JASRAC・NexToneとの協議について
レコード協会・CPRAとの協議について
著作権侵害CMについて
番組違法販売の状況共有

6月度(平成29年6月9日)

JASRAC および NexTone との交渉進捗
商業用レコード レコード協会との交渉進捗
違法配信受信 STB 販売について
海外での違法配信サービスについて

7月度(平成29年7月14日)

NexTone との交渉進捗
JASRAC に関わる連絡
商業用レコードの2次利用について
テレビ放送番組の海外配信に係るレコード使用料規定案について
違法配信受信 STB 販売について
海外での違法配信サービスについて

8月度(平成29年8月17日)

NexTone との交渉進捗
商業用レコードの2次利用について
テレビ放送番組の海外配信に係るレコード使用料規定案について
違法配信受信 STB 販売について
海外での違法配信サービスについて
著作権侵害 CM 制作の件
CCD 研究レポートについて

9月度(平成29年9月14日)

JASRAC と NexTone との交渉進捗
商業用レコードの2次利用について
音楽著作権管理の2団体(JASRAC 及び NexTone)との合意について
商業用レコードの2次利用に関する合意について
テレビ放送番組の海外配信に係るレコード使用料規定案について
違法配信受信 STB 販売について
著作権侵害 CM 制作の件
著作権セミナーについて

10月度(平成29年10月13日)

JASRAC と NexTone との交渉進捗について
JASRAC 及び NexTone との今後のスケジュールについて

商業用レコードの2次利用に関する合意について
 テレビ放送番組の海外配信に係るレコード使用料規定案について
 違法配信受信 STB 販売について
 著作権侵害 CM 制作の件
 著作権セミナーについて

11月度(平成29年11月10日)

JASRAC と NexTone の契約について
 商業用レコードの2次利用に関する合意について
 テレビ放送番組の海外配信に係るレコード使用料規定案について
 著作権侵害 CM 制作の件
 著作権セミナーについて

12月度(平成29年12月8日)

違法アップロード防止キャンペーン CM 制作の件
 JASRAC と NexTone の契約について
 商業用レコードの2次利用に関する合意について
 Twitter を利用した番組違法販売について
 著作権セミナー進捗
 テレビ放送番組の海外配信に係るレコード使用料規定案について
 商業用レコードの2次利用に関する支払いについて

1月度(平成30年1月12日)

JASRAC と NexTone の契約について
 違法アップロード防止キャンペーン CM 制作の件
 著作権セミナー進捗
 Twitter を利用した番組違法販売について

2月度(平成30年2月9日)

JASRAC と NexTone の契約について
 海外での違法 STB 販売について
 違法アップロード防止キャンペーン CM 制作の件
 著作権セミナー進捗

3月度(平成30年3月9日)

著作権委員会平成29年度予算執行状況及び通期見込み、また平成30年度事業計画について
 NexTone の契約確認について

■著作権セミナー

テーマ	「著作権実践講座」
日時	平成30年2月15日(木)
場所	明治記念館 丹頂の間
講師	著作権委員会メンバー
参加人数	39社87名

◆倫理委員会

4つのワーキンググループ(青少年健全育成活動、広告放送のガイドライン・テレビショッピング、成人番組倫理委員会、倫理委員会・CAB-J共催セミナー)を組成し活動をした。

4月度(4月10日)

先月に実施した青少年健全、「テレビ番組の制作現場を探検しよう！～スーパー！ドラマTV収録見学・海外ドラマ吹替え体験～」のレビュー／成人番組倫理委員会と「AV出演強要問題」について意見交換会を実施／第20回倫理委員会・CAB-J共催セミナーの実施報告

5月度(5月9日)

今回の青少年健全育成活動の検討状況報告／倫理委員会・CAB-J共催セミナーのテーマ検討／広告放送のガイドライン・テレビショッピングWGは4月18日開催のCAB-J CM担当者連絡会で情報共有／6月に設置予定の「放送コンテンツ適正取引推進協議会」メンバーは倫理委員会正・副委員長

6月度(6月19日)

青少年健全育成活動の企画内容報告／6月の成人番組倫理委員会総会後の懇親会に参加／字幕放送等に関するアンケート(2017年4～5月実施)結果説明／5月19日に総務省と衛星放送協会で「視聴覚障害者向け放送普及行政の指針」の意見交換

7月度(7月11日)

今回の青少年健全育成活動は、ターナー・ジャパンの協力で、「テレビ番組のイベント現場を探検しよう！～カートゥーンネットワーク&旅チャンネル イベント見学&お仕事体験ツアー」で決定／6月20日のCAB-J CM担当者連絡会に出席し情報共有／放送コンテンツ適正取引推進協議会設立総会が6月27日に開催／今後の「視聴覚障害者向け放送普及行政の指針」改定の対応は、110度委員会、BS委員会、倫理委員会で協議

8月度 休会

9月度(9月12日)

第21回衛星放送協会倫理委員会・CAB-J 共催セミナーの計画決定

10月度(10月10日)

青少年健全育成活動9月24日(日)実施報告／11月13日第21回衛星放送協会倫理委員会・CAB-J 共催セミナーの応募状況報告／9月20日 CAB-J CM 担当者連絡会でテレビショッピングの現状や課題を共有／9月19日に「放送コンテンツ適正取引推進協議会」第1回会議を開催／SARC が公表した「放送分野の個人情報保護に関する認定団体指針」の会員社への告知についてプライバシーポリシーの見直しを、会員社に発信

11月度(11月14日)

第21回衛星放送協会倫理委員会・CAB-J 共催セミナー

- | |
|--|
| ■日 時 : 11月13日(月) 14:00～15:30 |
| ■会 場 : 衛星放送協会会議室 |
| ■講 師 : 公正取引委員会事務局 経済取引局取引部企業取引課長補佐 熊谷 勝氏 |
| ■参加者数: 37名 |

今回の青少年健全育成活動3月、4月の春休み期間の実施で検討開始／12月6日(水)開催の成人番組倫理委員会年末懇親会に参加予定／10月25日に開催されたCAB-J CM担当者連絡会に出席し、テレビショッピングの現状や課題を情報共有した。

12月度(12月12日)

今回の青少年健全育成活動 開催候補の確認／次回1月の成人番組倫理委員会WG意見交換会「AV 出演強要問題」をテーマに実施予定／第22回衛星放送協会倫理委員会・CAB-J 共催セミナーを3月1日実施の進捗報告

1月度(1月9日)

3月に実施の青少年健全育成活動の実実施計画決定／第95回 CAB-J CM 考査担当者連絡会の情報共有／字幕付与に関する進捗報告

2月度(2月23日)

今回の青少年健全育成活動の募集状況報告／1月に実施した成人番組倫理委員会との意見交換会報告／3月の共催セミナー講師との打合せ報告／2月7日に公表された「放送分野における情報アクセシビリティに関する指針」の共有

3月度(3月13日)

青少年健全育成活動「春休み テレビ番組の制作現場を探検しよう。～テレビショッピング専門チャンネルの舞台裏を見学しよう～」実施確認／第22回衛星放送協会倫理委員会・CAB-J 共催セミナー実施報告

第22回衛星放送協会倫理委員会・CAB-J 共催セミナー

- | |
|--------------------------------|
| ■講 師:公益社団法人日本広告審査機構 専務理事 山本一広氏 |
| ■開催日:平成30年3月1日(木)14:00～15:00 |
| ■会 場:衛星放送協会会議室 |
| ■参加社数:22社31名 |

青少年健全育成活動

- イベントタイトル:
「春休み テレビ番組の制作現場を探検しよう！～テレビショッピング専門チャンネルの舞裏を見学しよう～」
- 開催日:平成30年3月24日(土)12:00～17:30
- 会 場:QVC スクエア(QVC ジャパン社屋)千葉県美浜区
- 参加者:新小学5年生～新中学生(保護者同伴)5組

◆災害対策委員会

今期は本来の自然災害対策に戻り、震災対策セミナー、Jアラート等に関する研究を軸に活動した。

6月度(平成29年6月29日)

今年度活動計画について、セミナー内容等を協議

9月度(平成29年9月13日)

2017年度災害対策セミナーについて

Jアラートの概要

内閣官房 国民保護ポータルサイト

北朝鮮によるミサイル発射時の緊急放送について(野田市HP)

Jアラート どうする情報提供のあり方(NHK NWES WEB)

2月度(平成30年2月23日)

北朝鮮ミサイル発射の緊急放送を例とした国民保護法制と衛星放送に関する勉強会

■災害対策セミナー

テーマ	見たくないことも直視し企業の震災対策を！
日時	平成29年11月6日(月)
場所	衛星放送協会 会議室
講師	福和 伸夫 教授(名古屋大学減災連携研究センター長)
参加人数	16社30名

③業務グループ

◆124/8度委員会

スカパーJSAT社と情報を共有し、スカパー！プレミアムサービスの普及に向けた諸活動、主に加入者拡大に向けた活動をした。

4月度(平成29年4月20日)

スカパーJSAT社からの報告と協議(FTTH光コラボルート/4Kテレビ販売ルートの進捗状況)

業務系委員会、各検討プロジェクト(4K・8K検討プロジェクト/NET配信検討プロジェクト)の報告と情報共有

5月度(平成29年5月24日)

スカパーJSAT社からの報告と協議

スカパー5項目の検討状況

業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

6月度(平成29年6月28日)

スカパーJSAT社からの報告と協議

業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

7月度(平成29年7月26日)

スカパーJSAT社からの報告と協議

スカパー5項目の検討状況

加入料制度および変更手数料の見直しについて

業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

8月度(平成29年8月23日)

スカパーJSAT社からの報告と協議

業務系委員会統合検討WGについて

業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

9月度(平成29年9月27日)

スカパーJSAT社からの報告と協議

2017年下期の家電販路での展開に関して

商品体系への取組みに関するご提案

業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

10月度(平成29年10月25日)

スカパーJSAT社からの報告と協議

NET配信検討プロジェクトについて

業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

11月度(平成29年11月22日)

スカパーJSAT社からの報告と協議

プレミアムサービスの拡販について

業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

12月度(平成29年12月20日)

スカパーJSAT社からの報告と協議

プレミアムサービスの拡販について

業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

1月度(平成30年1月31日)

スカパーJSAT社からの報告と協議

業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

スカパー経営者連絡議題について

2月度(平成30年2月28日)

スカパーJSAT社からの報告と協議

業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

3月度(平成30年3月28日)

スカパーJSAT社からの報告と協議

業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

◆**110度委員会**

スカパーJSAT社と情報を共有し、110度CS放送の普及に向けた諸活動、主に加入者拡大に向けた活動をした。

4月度(平成29年4月24日)

スカパーJSAT社からの報告と協議(普及促進費用計画値、プラットフォーム編成案、普及促進活動案ほか)

販促WG報告(会場販促について)

12スロットHD化に関わる情報共有

業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

5月度(平成29年5月29日)

スカパーJSAT社からの報告と協議

販促WG報告(会場販促について)

110度CS放送の高画質化の早期実現に関する要望書について

視聴覚障害者向け放送普及行政の指針の改定について

アルダージ社との協議について

業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

6月度(平成29年6月26日)

スカパーJSAT社からの報告と協議

販促WG報告(会場販促について)

視聴覚障害者向け放送普及行政の指針の改定について

業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

7月度(平成29年7月24日)

スカパーJSAT社からの報告と協議

業務WG報告(パススルー案件について)

放送法関係審査基準(平成23年総務省訓令第30号)の一部を改正する訓令案に関するパブコメについて

字幕WG報告(視聴覚障害者向け放送普及行政の指針の改定について)

アルダージ対応について

業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

8月度(平成29年8月28日)

スカパーJSAT社からの報告と協議

アルダージ対応について

業務系委員会統合検討WGについて

字幕WG報告(視聴覚障害者向け放送普及行政の指針の改定について)

業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

9月度(平成29年9月25日)

スカパーJSAT社からの報告と協議(110度サービス純増目標に対する進捗含む)

スカパー営業推進部からの報告(販路比率、マーケティングオートメーション、アンテナ取付サポート、光コラボ、量販店での取組、施策の実施状況等)新基本パックと組んで複数台0円キャンペーンを検討

字幕WG報告(視聴覚障害者向け放送普及行政の指針の改定について)

業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

10月度(平成29年10月23日)

スカパーJSAT社からの報告と協議(110度サービス純増目標に対する進捗含む)

業務WG報告(スカパーへの要望書とりまとめ)

字幕WG報告(視聴覚障害者向け放送普及行政の指針の改定について)

業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

11月度(平成29年11月27日)

スカパーJSAT社からの報告と協議(110度サービス純増目標に対する進捗含む)

アルダージ報告

業務系委員会統合検討WGについて(スカパーへのヒアリング結果等)

字幕WG報告(視聴覚障害者向け放送普及行政の指針の改定について)

業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

12月度(平成29年12月25日)

スカパーJSAT社からの報告と協議(110度サービス純増目標に対する進捗含む)

各WGからの報告

字幕WG報告(視聴覚障害者向け放送普及行政の指針の改定について)

業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

1月度(平成30年1月22日)

スカパーJSAT社からの報告と協議(110度サービス純増目標に対する進捗含む)

各WGからの報告

業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

2月度(平成30年2月26日)

スカパーJSAT社からの報告と協議(110度サービス純増目標に対する進捗含む)

各WGからの報告

2018年度の普及促進施策についてのアンケート実施(3月2日締め切り)

業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

3月度(平成30年3月26日)

スカパーJSAT社からの報告と協議(110度サービス純増目標に対する進捗含む)

各WGからの報告

2018年度の普及促進計画に関わるアンケートの結果(38社中27社からの意見)

業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

◆ケーブル委員会

ケーブルテレビおよびIPTV事業者と適正で良好な関係を構築するため課題を整理し、ケーブルテレビ/IPTV経由の有料・多チャンネル放送契約数の拡大を目指す活動を実施した。

- 4月度**(平成29年4月17日運営委員会)
分科会活動報告(事業推進分科会<ケーブル局・異業種ヒアリング状況、ケーブルコンベンション 2017のセミナー対応>/次世代推進分科会<定点観測およびセミナー準備状況>)
- 5月度**(平成29年5月15日運営委員会)
分科会活動報告(事業推進分科会<ケーブル局ヒアリング、他業界ヒアリング、ケーブルコンベンションセミナー、定点調査表、違法配信について>/次世代推進分科会<定点観測進捗、セミナー企画進捗>)
- 6月度**(平成29年6月19日全体会)
委員交代挨拶、分科会の状況報告(事業推進分科会<投稿システム、共同購入案件、ケーブル局事例、異業種事例など>/次世代推進分科会<セミナー準備状況、プラットフォーム事業者定点観測>)
- 7月度**(平成29年7月10日運営委員会)
メンバー変更、分科会の状況報告(事業推進分科会<ケーブル局ヒアリングなど>/次世代推進分科会<「第4回次世代セミナー」について>)
- 8月度**(平成29年8月21日運営委員会)
分科会活動報告(事業推進分科会<共同購入案件、違法配信について、異業種ヒアリング状況>/次世代推進分科会<セミナー実施報告>)
- 9月度**(平成29年9月11日全体会)
分科会の状況報告(事業推進分科会<共同購入案件ケーブル来訪報告、異業種事例など>/次世代推進分科会<セミナー結果報告、プラットフォーム事業者定点観測>)
- 10月度**(平成29年10月16日運営委員会)
分科会の状況報告(事業推進分科会<共同購入ヒアリング準備状況/ケーブル局、異業種ヒアリング進展>/次世代推進分科会<プラットフォーム状況調査進展>)
- 11月度**(平成29年11月20日運営委員会)
分科会の状況報告(事業推進分科会<共同購入ヒアリング状況、違法配信現地調査、ケーブル局ヒアリング結果>/次世代推進分科会<プラットフォーム状況調査進展>)
- 12月度**(平成29年12月18日全体会)
分科会の状況報告(事業推進分科会<共同購入ヒアリング状況、違法配信疑義案件、ケーブル局事例>/次世代推進分科会<プラットフォーム事業者定点観測>)
- 1月度**(平成30年1月15日運営委員会)
共同購入に関するケーブル局来訪、ヒアリング、意見交換実施。
- 2月度**(平成30年2月19日運営会議)
分科会報告(事業推進分科会<勉強会企画案、伝送路調査、共同購入の動き、違法配信>/次世代推進分科会<ヒアリング進展状況>)
- 3月度**(平成30年3月19日全体会)
委員交代について、分科会の状況報告(事業推進分科会<四国共同購入案件、違法配信案件、伝送路調査、ケーブル局・異業種ヒアリングまとめ>/次世代推進分科会<プラットフォーム事業者定期調査進展>)

■第四回次世代セミナーの実施

テーマ	第四回次世代セミナー: 第1部 : 営業現場で話せる/使える? ケーブルテレビの「高度 BS、第3世代 STB・A-CAS について」 第2部 : 「モバイルアプリがもたらす放送事業の変化」 第3部 : 「WOWOWの次世代戦略について」
日時	平成29年8月3日(木) 13:00~17:00
場所	明治記念館 (元赤坂)
講師	第1部 : 一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 放送制度部長 角田 俊哉 様 第2部 : App Annie Japan 株式会社 Senior Business Development Manager 上村 洋範 様 Business Development Manager 栗林 恵次郎 様 第3部 : 株式会社 WOWOW 経営戦略局長 大熊 和彦 様

- ケーブルコンベンション2017(7月21、22日)
 - ケーブル委員会委員により、当日の会場誘導などの対応を実施
 - 多チャンネル放送研究所の協力によりセミナーを実施

◆ プレミア委員会

スカパーJSAT社と情報を共有し、さらなるプレミアチャンネルの普及促進を目指す活動を実施した。

4月度(平成29年4月27日)

スカパーJSAT社からの報告と協議(プレミアチャンネル契約数の推移)
業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

5月度(平成29年5月25日)

スカパーJSAT社からの報告と協議(直近の加入動向等)
プレミアチャンネルの販促案について(Myスカパー！IDを活用したメールキャンペーン)
業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

6月度(平成29年6月29日)

スカパーJSAT社からの報告と協議(直近の加入動向等)
プレミアチャンネルの販促案について(Myスカパー！IDを持っていない人も含める等、範囲を広げることを要望)
業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

7月度(平成29年7月27日)

スカパーJSAT社からの報告と協議(直近の加入動向等)
加入料制度および変更手数料の見直しについて
業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

8月度(平成29年8月31日)

スカパーJSAT社からの報告と協議(直近の加入動向等)
プレミアチャンネルの販促案について(衛放協プレミア委員会が主催し、スカパー協力のもと実施する座組みに)
業務系委員会統合検討WGについて
業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

9月度(平成29年9月28日)

スカパーJSAT社からの報告と協議(直近の加入動向等)
プレミアチャンネルの販促案について(業務連絡会で説明し、各委員会やパックの幹事会に説明し意見を求める)
業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

10月度(平成29年10月26日)

スカパーJSAT社からの報告と協議(直近の加入動向等)
東経110度CS放送の高画質化について
業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

11月度(平成29年11月30日)

4K・8K検討プロジェクト報告
業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

12月度(平成29年12月21日)

業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

1月度(平成30年1月25日)

スカパーJSAT社からの報告と協議(直近の加入動向等)
業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

2月度(平成30年2月22日)

スカパーJSAT社からの報告と協議(直近の加入動向等)
業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

3月度(平成30年3月29日)

スカパーJSAT社からの報告と協議(直近の加入動向等)
業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

◆BS委員会

スカパーJSA社との情報共有の他、一般社団法人放送サービス高度化推進協会、B-SAT等、BSに係る団体および関係者との密接な情報共有を図り、BSチャンネルの普及促進を目指す活動を実施した。

4月度(平成29年4月20日)

BS送信検討WG報告(4月19日にBS送信検討WGが設置されたことをスカパーJSAT社と共有)
字幕付与に関する衛放協アンケートについて
業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

5月度(平成29年6月12日)

BS送信検討WG報告
字幕付与に関する衛放協アンケートについて(会員社チャンネルの現状把握の為のアンケートを実施)
業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

6月度(平成29年6月27日)

字幕付与に関する衛放協アンケートについて(110度委員会、倫理委員会、BS委員会の合同)
業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

7月度(平成29年7月27日)

字幕付与に関するWG報告
業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

8月度(平成29年8月29日)

字幕付与に関するWG報告
業務系委員会統合検討WGについて
業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

9月度(平成29年9月20日)

字幕付与に関するWG報告
業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

10月度(平成29年10月24日)

字幕付与に関するWG報告
BS送信検討WG報告(11月より検討再開)
業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

11月度(平成29年11月28日)

字幕付与に関するWG報告
リモコン選局改善の進捗共有(APAB 規格検討会議直下の第七編分科会にて改定ドラフト案を作成し
審議承認済み)
業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

12月度(平成29年12月26日)

字幕付与に関するWG報告(12/26 付で放送分野における情報アクセシビリティに関する指針(案)が
公表され、同時に意見募集開始)
BS送信検討WG報告
リモコン選局改善の進捗共有(12/13 付で APAB 技術委員会の審議が完了)
業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

1月度(平成30年1月30日)

字幕付与に関するWG報告(パブコメ提出)
BS送信検討WG報告
リモコン選局改善の進捗共有(1/22 ARIB の規格検討会議において新 BS 事業者を中心に推進した
BS ワンタッチボタンの拡張機能例追記を含む“TR-B15 7.5 版”が決議された)
業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

2月度(平成30年2月27日)

総務省「衛星放送の将来像に関するワーキンググループ」報告

BS送信検討WG報告

業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

3月度(平成30年3月22日)

総務省「衛星放送の将来像に関するワーキンググループ」報告

業務系委員会、各検討プロジェクトの報告と情報共有

(4)多チャンネル放送研究所

多チャンネル放送について、普及や、認知度などの現状把握、将来予測や、普及促進を阻害している要因などの調査、分析を行い個別に発表してまいりました。また、平成30年度の設立10周年に向け、2年越しでの新たな視聴者調査を開始しました。

研究報告書の公表

- ・平成29年 7月 「事業者予測調査」(5月実査分)
- ・平成29年 6月 「多チャンネル放送の現状と課題2016～2017」
- ・平成29年10月 「2017年多チャンネル放送実態調査 調査報告書」
- ・平成30年 1月 「事業者予測調査」(11月実査分)

発表会・セミナー・シンポジウム

- ・平成29年11月 第9回発表会

■第9回 多チャンネル放送研究所発表会

テーマ	・ユーザー分析WG、将来像予測WG、コンテンツ論WG、各WG研究発表 ・「メディア激変のなかで、多チャンネルはどう生きる」まとめと問題提起 音所長より
日時	平成29年11月28日(火) 13:30～16:30
場所	明治記念館(元赤坂)
講師	多チャンネル放送研究所長 音 好宏 氏(上智大学文学部教授) 1. 清正 徹 ユーザー分析 WG 主査 (株WOWOW プラス) 2. 三塚 洋佑 将来像予測WG 主査 (名古屋テレビネクスト(株)) 3. 神崎 義久 コンテンツ論 WG 主査 (株スターチャンネル)
参加人数	50社 94名

(5)衛星テレビ広告協議会(CAB-J)

平成29年(歴年)の総広告費は、円安を追い風にした企業業績の回復、株価上昇、雇用環境の改善など、戦後2番目の長さといわれる景気拡大に連動する形で、前年比101.6%、6兆3,907億円と6年連続で前年実績を上回っています。

一方で、「マス4媒体」は、前年比97.7%と3年連続で減少しています。地上波テレビと衛星メディア関連を合計した「テレビメディア広告費」は前年比99.1%、「新聞広告費」は同94.8%、「雑誌広告費」は同91.0%と減少する中で、「ラジオ広告費」のみが100.4%と2年連続のプラス成長となっています。

これに対して「インターネット広告費」は、特にモバイルでの運用型広告、動画広告が伸長し、前年比115.2%と4年連続の2桁成長となり、総広告費をけん引した結果となりました。

こうした中、「衛星メディア関連広告費」は、通販を中心に増加したBSが、暦年で前年比102.9%と全体を押し上げた結果により、全体は前年比101.3%と前年を上回っています。一方、平成29度(4月～3月末)のCS/BSペイテレビ広告売上は、IT系企業の広告が増加する一方で、全体的なデジタルシフトの影響を受けたと思われる、前年比96.4%の202億円となりました。

CAB-Jの活動内容詳細については、添付の「衛星テレビ広告協議会(CAB-J)平成29年度事業報告」を参照ください。

(6)記録保存所

衛星放送協会記録保存所は、平成24年7月1日に文化庁長官より公的記録保存所としての指定を受け、正会員が著作権法44条に則って制作した一時的固定物(放送番組)を、放送後6カ月を超えても保存している。記録保存所は衛星放送協会事務局を本所とし、希望する正会員に支所を設置。実際には、37社(平成30年3月末日現在)の正会員支所がそれぞれ保存業務を行っている。平成30年4月には、本所が各支所の平成29年度保存状況を取り纏め報告書を文化庁に提出した。

以上

【添付】

衛星テレビ広告協議会(CAB-J) 平成29年度事業報告

自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日

1. 業界の概要

平成29年(歴年)の総広告費は、円安を追い風にした企業業績の回復、株価上昇、雇用環境の改善など、戦後2番目の長さといわれる景気拡大に連動する形で、前年比101.6%、6兆3,907億円と6年連続で前年実績を上回っています。

一方で、「マス4媒体」は、前年比97.7%と3年連続で減少しています。地上波テレビと衛星メディア関連を合計した「テレビメディア広告費」は前年比99.1%、「新聞広告費」は同94.8%、「雑誌広告費」は同91.0%と減少する中で、「ラジオ広告費」のみが100.4%と2年連続のプラス成長となっています。

これに対して「インターネット広告費」は、特にモバイルでの運用型広告、動画広告が伸長し、前年比115.2%と4年連続の2桁成長となり、総広告費をけん引した結果となりました。

こうした中、「衛星メディア関連広告費」は、通販を中心に増加したBSが、暦年で前年比102.9%と全体を押し上げた結果により、全体は前年比101.3%と前年を上回っています。一方、平成29度(4月～3月末)のCS/BSペイテレビ広告売上は、IT系企業の広告が増加する一方で、全体的なデジタルシフトの影響を受けたと思われ、前年比96.4%の202億円となりました。

テレビメディアを取り巻く環境は、様々な動画配信サービスの参入、録画再生などによるタイムシフトの増加、動画視聴デバイスの多様化等の影響により厳しさを増しています。CS/BSペイテレビ業界は、ジャンルに特化した専門性の高いコンテンツ、明確な視聴者属性といったメディア価値の向上を図り、広告価値の向上を目指した取り組みを一層進めていく必要があります。

2. 衛星テレビ広告協議会の取り組み

- ① CS/BSペイテレビ広告の啓蒙と市場拡大を目指して実施しているCAB-Jセミナー2017を、東京、大阪、福岡の3地区で開催。各地区の広告会社を多数集客して、視聴者属性が明確なターゲットメディアであるCS/BSペイテレビの特徴を、映像事例集と調査データを元にしたプレゼンテーションで訴求しました。
- ② 機械式ペイテレビ接触率共同調査は、平成30年4月以降の刷新と充実化に向け、正会員と賛助会員で構成されるワーキンググループで継続した意見交換を実施し、調査期間の52週化や対象エリアの拡大等について実現を図りました。併せて平成30年4月の同調査で、トライアル実施するタイムシフト視聴測定の準備を整えたほか、視聴ログによる視聴者数推計の検討も進めました。
- ③ 正会員と賛助会員を対象に、地上波キー局中心に昨年10月から運用が始まった、TVCM素材のオンライン送稿をテーマとした勉強会を開催し、最新の情報を共有しました。また、正会員を対象とした「オンラインCM搬入」や、「IP配信における広告サービス」に関するアンケートも実施しました。
- ④ ホームページをリニューアルし、情報発信力の向上を目指しました。加えて平成30年4月に刷新予定のトップページのデザインや、今後の会員データ情報内容の充実化、ユーザビリティの向上やスマホ対応等についても準備や検討を実施しました。また、機械式ペイテレビ接触率共同調査結果をニュースリリースとして隔月発信したほか、CAB-Jメールマガジンも隔月で発行しました。

3. 定例会議

- ① 第6回定時総会 (平成29年5月11日)
- ② 正副委員長会 (月例)
- ③ CM考査担当者連絡会議 (月例) [総務・広報委員会]
- ④ 機械式ペイテレビ接触率共同調査(RVCS)ワーキンググループ (月例) [メディアデータ委員会]

4. セミナー、勉強会等

- ① アドタイ・デイズ2017出展 (平成29年4月26日～27日)

- ② CAB-Jセミナー2017 [営業推進委員会]
 - ※「CS/BSペイテレビ メディアデータブック2017」の発行／映像による広告事例集の制作
 - ・東京地区（平成29年10月5日）
 - ・関西地区（平成29年11月9日）
 - ・福岡地区（平成29年11月22日）
- ③ CAB-J勉強会 [営業推進委員会]
 - ・テレビCMオンライン運用の概要について／（一社）日本広告業協会（平成29年9月7日）
- ④ 衛星放送協会倫理委員会・CAB-J共催セミナー [総務・広報委員会]
 - ・下請法・優越的地位の濫用規制について／公正取引委員会（平成29年11月13日）
 - ・広告・表示のフェアプレイ／（公社）日本広告審査機構（平成30年3月1日）
- ⑤ 賛助会員社との意見交換 [営業推進委員会]
 - ・CS/BSペイテレビ広告ワークショップ（平成30年2月7日）
- ⑥ 機械式ペイテレビ接触率共同調査仕様変更説明会 [メディアデータ委員会]（平成30年2月9日）

5. 調査・研究等

- ① 広告出稿調査 [営業推進委員会]
 - ・平成28年度 第3四半期・第4四半期（平成29年4月）
 - ・平成29年度 第1四半期・第2四半期（平成30年3月）
- ② CS/BSペイテレビ広告売上集計調査
 - ・平成28年度 通期（平成29年4月）
 - ・平成29年度 上期（平成29年10月）
- ③ ペイテレビ加入世帯数判定会議 [総務・広報委員会]
 - ・平成29年 6月末時点（平成29年8月1日）
 - ・平成29年 12月末時点（平成30年2月8日）
- ④ IP配信における広告サービス状況の定点観測 [営業推進委員会]
 - ・平成29年4月実施
 - ・平成29年12月実施
- ⑤ オンラインCM搬入に関するアンケート [営業推進委員会]
 - ・平成29年5月実施

6. 委員会活動

●総務・広報委員会

- (1) 広報活動及びCAB-J公式ホームページの利便性向上及び利用増に向けた改善
 - ・広報・ホームページワーキンググループを計9回開催。
 - ・ホームページの管理・改善に加えて、広報業務に範囲を拡大した。ホームページのリニューアル開発については、諸事情より開発ベンダーを変更しつつも、予算内で平成30年4月に完了予定。考査情報、各社動画素材の本格的掲載を予定。
 - ・ホームページ上の更新情報を発信すべく、平成27年12月に開始したCAB-Jメールマガジンを機械式ペイテレビ接触率共同調査のリリース等に合わせて発行した。
 - ・月刊B-magaにCAB-Jページを設け、機械式ペイテレビ接触率共同調査の番組ランキングを毎月掲載した。
 - ・メディアデータ委員会と連携し、機械式ペイテレビ接触率共同調査のターゲット別人気番組リリースを計6回発行した。
- (2) ペイテレビ加入世帯数判定会議

平成29年6月末付、12月末付の総加入世帯数調査を実施。6月末付の世帯数を「CS/BSペイテレビメディアデータブック2017」に掲載した。
- (3) 広告考査関連活動
 - ① CM考査担当者連絡会議

毎月1回の連絡会議を開催し、考査情報の意見交換をした。
 - ② 衛星放送協会倫理委員会・CAB-J共催セミナー開催

平成29度は2回開催し、いずれのセミナーも多数の参加があり好評であった。

●営業推進委員会

(1) CAB-Jセミナー2017

広告会社及び日本アドバタイザーズ協会・日本広告業協会・日本広告審査機構(JARO)等関係団体を対象に、CAB-Jの活動内容とCS/BSペイテレビメディアの現状を深く理解してもらうためのセミナー及び懇親パーティを東京、大阪、福岡の3地区で開催。セミナーではCS/BSペイテレビを活用した広告事例の数々を映像で紹介。続いてメディアデータ委員会によるCS/BSペイテレビの接触状況をはじめとしたデータの発表を行った。

■東京会場:東京ドームホテル(平成29年10月5日)

出席者:セミナー308名、懇親パーティ410名

■大阪会場:リーガロイヤルホテル(平成29年11月9日)

出席者:セミナー164名、懇親パーティ140名

■福岡会場:西鉄グランドホテル(平成29年11月22日)

出席者:セミナー119名、懇親パーティ111名

(2) CS/BSペイテレビ広告事例集映像作成

CS/BSペイテレビの媒体特色を視覚的にアピールするために広告事例紹介映像を作成。CAB-Jセミナーなど媒体説明会での使用、及び各局のセールスツールとして活用した。

(3) 広告出稿調査

CS/BSペイテレビ広告の現状把握を目的として、四半期ごとの正会員各社の出稿社、及び出稿内容の調査を実施。集計データ、出稿社一覧をとりまとめ、参考資料として正会員・賛助会員各社へ配布した。さらに調査集計の効率化を図り調査ツールにWebサービスを導入した。

(4) 賛助会員社との意見交換

正会員と賛助会員の若手が交流する場としてCS/BSペイテレビ広告ワークショップを開催した。1部では賛助会員より、若手に向けた広告ビジネスの手解きとなる講義を行い、2部では売上げ拡大への課題についてグループディスカッションを実施。3部では各グループのディスカッションのプロセスと解を参加者全員にプレゼンテーションした。さらに懇親会も行い、継続的かつ発展的に会の継続を希望する声が多々聞かれた。

✓ 実施日:平成29年2月7日(水)

✓ 会場:ジュピターテレコム セミナールーム

✓ 出席者

ワークショップ:正会員15社 36名 賛助会員8社 12名

懇親会:正会員13社 33名、賛助会員4社 8名

(5) 放送業務整備WG

フローの検証(CM素材の種類とその対応、CM素材納品日の調整等)、営放システム・プレイアウトの情報共有と課題の検証、オンライン送稿、IPリニア配信に向けた各種調整及びアンケートの実施による現状把握を行った。

(6) CAB-J勉強会の開催

✓ 実施日:平成29年9月7日(木)

✓ 会場:TBSテレビ S121会議室

✓ 講演内容:「テレビCMオンライン運用の概要」

✓ 講師:(一社)日本広告業協会 外山善太氏(博報堂DYメディアパートナーズ)

(一社)日本広告業協会 小林順一氏(電通)

✓ 出席者:正会員・賛助会員計 132名

●メディアデータ委員会

(1) 機械式ペイテレビ接触率共同調査ワーキンググループの運営

議長、委員を一部メディアデータ委員が兼務し、「利用者側の要望を取り入れ、より良いアウトプット仕様、調査設計を決め、ペイテレビの広告市場発展に資すること」を目的に同ワーキンググループ、上位のメディアデータ委員会等を開催した。

当期は、「機械式ペイテレビ接触率共同調査」仕様改訂に向け、調査仕様の詳細について討議を行った。

主要議題は以下の通り。

① 機械式ペイテレビ接触率共同調査 仕様変更の討議

- ② 共通ターゲットの修正
 - ③ 機械式ペイテレビ接触率共同調査「付帯調査」仕様
 - ④ メディアデータブック記載データ
 - ⑤ CAB-Jセミナー説明会内容
 - ⑥ 調査結果に関するニュースリリースの実施
 - ⑦ リリース拡充など調査の啓蒙施策の検討
- (2)「CS/BSペイテレビ メディアデータブック2017」制作
編集委員会を組織し、CAB-Jセミナー前に10,000部印刷完了。
編集作業と印刷業務をサテマガ・ビー・アイ㈱、データブックと連動する広告事例集映像の制作を㈱フラッグに委託。
- (3)各種セミナーの実施
- ① CAB-Jセミナー2017でのメディアデータを用いた媒体説明
メディアデータブックの内容を基に東京(平成29年10月5日)、大阪(平成29年11月9日)、福岡(平成29年11月22日)の計3回実施。
 - ②「機械式ペイテレビ接触率共同調査」仕様変更説明会
メディアデータ委員会 機械式ペイテレビ接触率共同調査WGと、㈱ビデオリサーチ共催で下記日時に開催。
 - ✓ 実施日:平成30年2月9日(金)15時00分～16時30分
 - ✓ 場所:ビデオリサーチ 本社会議室
 - ✓ 講演内容:
 - 1.「機械式ペイテレビ接触率調査の課題と対策」
 - 2.「機械式ペイテレビ接触率共同調査/新調査フレームのご案内」
 - ✓ 出席者:78名
- (4)機械式ペイテレビ接触率共同調査結果の定期的情報発信
総務・広報委員会と共同で、調査結果の定期的なニュースリリースを実施した。

以上